

# 令和6年度第3回新居浜市総合文化施設及び美術館協議会会議録

- 1 日時 令和7年2月26日(水) 14:00~15:00
- 2 場所 あかがねミュージアム 創作スペース
- 3 出席者 出席委員(11名)  
 岡 俊守 竹宮 直孝 神野 祐一 篠原 雅士 永井 泰子 徳田 明仁  
 池野 光則 岡野 弥生 吉田 達哉 合田 定子 尾崎 恵  
 欠席委員(4名)  
 藤原 正治 神野 恭多 佐伯 徳哉 坂上 公三  
 事務局(7名)  
 企画部文化スポーツ局長 守谷 典隆、文化振興課 課長 中沢 美由紀  
 美術館 館長 近藤 明美、主査 白川 亜子  
 あかがねミュージアム運営グループ  
 代表 ハートネットワーク 代表取締役社長 伊藤 直人  
 経営統括者 渡邊 由佳、施設統括責任者 伊藤 周平
- 4 傍聴者 なし
- 5 次第
  - 1 開会あいさつ
  - 2 議事
    - (1) 令和6年度事業報告について
    - (2) 令和7年度事業計画(案)について
    - (3) その他

事務局	<p>会議に先立ちまして、委員の出席状況を報告いたします。委員定数15名のうち11名のご出席をいただいておりますので、新居浜市総合文化施設及び美術館協議会条例第6条の規定により、この協議会は成立いたしておりますことをご報告いたします。それでは、吉田会長よりお願いいたします。</p>
会長	<p>ただいまから令和6年度第3回新居浜市総合文化施設及び美術館協議会を開催いたします。本日の会議は15時終了を予定しておりますのでご協力をお願いいたします。議事に入ります前に、令和7年度からの指定管理者についてのご報告をいたします。先の12月市議会で、令和7年度からのあかがねミュージアムの指定管理者は、あかがねミュージアム運営グループに指定されました。次期の指定管理業者としてご挨拶をまずいただきたいと思っておりますので、あかがねミュージアム運営グループ様よりお願いいたします。</p>
指定管理者	<p>皆様こんにちは。あかがねミュージアム運営グループの代表者でございますハートネットワークの伊藤と申します。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。我々は、昨年12月、議会の方で承認をいただきまして、来年度から3期目になります。この10年につきましては、皆様に本当にお世話になりまして、館の運営、管理させていただいてきておりました。次の5年に</p>

関しましても、我々の提案というところで承認を受けたということで、進めさせていたきたいと思っております。

次期5年につきましては、この新居浜市、少子高齢化ということで、どうしても子どもが減ってきて、高齢人口が増えてくるということで、これまで子どもたちを中心に文化芸術というところを進めていこうという考えでありましたが、子どもたちに加えて、子どもから高齢の方まで三世代にわたって、この文化芸術を学んでいただく、楽しんでいただく、そして体験していただくという、そういった施設を目指してまいりたいというふうに考えております。

やはりこういった時代の流れでございますので、全市民の方に楽しんでいただけるような、そういった館の運営をさせていただいたらと思っております。我々少ない人数であかがねミュージアムの運営をしてまいりますけれども、何卒ご協力のほうをお願いいたします。

また次期につきましては、美術館の館長につきましても、我々の指定管理者の方から出させていただくということになっております。現在人選を進めているところでございますけれども、まもなく皆様の方にもこの辺り発表させていただけるんじゃないかなと思っております。また学芸員につきましても、今回指定管理者の方から3名出させていただく予定をしております。こちらに関しても今人選中ではございますけれども、これも近々決めさせていただいて、皆さんの方にもまたご紹介をさせていただいたらと思っておりますので、これまで美術館に関しましては、新居浜市様の方が中心ということでございましたが、我々の方も少し美術館の方にも携わらせていただきまして、このあかがねミュージアム全体として美術館、そして総合文化施設ということで運営をしていきたいと思っておりますので、これまでと変わらずご協力いただければと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

会長

ありがとうございました。さらに一層ますますご活躍をいただきますように、どうぞよろしくお願いいたします。では、議事に入らせていただきたいと思います。本日ご用意しています議事は、第1号議案が令和6年度事業報告について、2号議案が令和7年度事業計画案についてでございます。その他で、何か皆様からご提案の議事がございますでしょうか。なければ、1号、2号、そしてその他の場面で意見交換等時間がありましたらさせていただけたらと思います。ではまず、1号議案、令和6年度事業報告について、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局	<p>新居浜市総合文化施設及び美術館協議会資料に沿ってご説明いたします。 (資料に基づいて説明)</p>
指定管理者	<p>続いて指定管理者の方の事業報告をいたします。 (資料に基づいて説明)</p>
会長	<p>事業報告についてご意見やご質問等お願いしたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。</p>
委員	<p>質問になりますが、この資料の入場者数の1枚で、基本的にいうと数字上出ていることが非常に重要です。この博物館は45年以上、新居浜市民の方々が待望に待っていた文化活動の拠点だという話で、45年間ぐらいつと悩まれている、なんとか作られたという意味ではとても素晴らしい施設でありますし、このデータは内向きのデータが書かれているんですけど、できて10年になりますよね。ちなみに、新居浜市民の方々は、芸術活動はどうなったんでしょうかね、という調査はされていますか。</p> <p>なぜならば、新居浜市民が何十年もかかって、いろんな多面的に芸術活動を好きで好きでやりたくて、その場所を必要とされて、念願が叶っていらっしゃるわけなので、今、ここに集まっていられっしゃる各委員の皆様には情報公開されていますが、市民に還元するという意味では、情報公開されていないのではないかなとすごく思います。市民の方々に向けてのメッセージとしては、やはり数字をぜひ市民の方々にわかるように公開すべきだと思います。</p> <p>その公開とともに、実際の市民の方々がこの10年で、芸術活動に関連することとして、とても役に立っているとか、とてもここができてうれしいとか、もっとこうしてくれとか、たぶんそういう意見はですね、皆様がここで代表者として来られているとは思いますが、だからといって代表者の方々に、じゃあ市民の方々が一言二言、言うかというとなかなか難しいのかなと思いますので、この今年度1年間の実績がどうだこうだという話ではなく、ちなみにこの実績、松山市でいうと松山市子規記念博物館をはるかに超えています。この5年スタイルでいうと、平成27年からコロナが起こるまでの話でいくと、約20万人くらいの状況に対して、コロナということでインパクトがあった状態で、全世界が変化していますので。実際のところ、そこから令和1年になって、令和2年から始まって、結果的に令和5年で右上がりになっていて、令和6年は下がっていると言いつながらでも、俯瞰してみると20万人ぐらいの話の方向へどンドン戻っているという意味でいうと、この数字は素晴らしい数字です。だけど多分ステージを変えるという意味では、もっと確認していかなくちゃいけない。市民の方々がここに対してどんな思いがあるかっていうことを拾い上げて、すくい上げていく。</p> <p>総合的な意見を言わせていただきますけど、ハートネットワーク、もう第3期になるということで。いわゆるスーパーゼネコンである企業がここを作りましたけども、スーパーゼネコンが実際のところ地域にローカルに手を広げていくかというところでいくと、ハートネットワークが入られたことによって、新居浜のまだベースとなるものは支えられたと。</p> <p>全国でいうと指定管理っていうのは、公立博物館でいったらだいたい34%くらいっていう話が客観的に出ています。今は多様になっているので指定管理者だけの話ではないですけど、どこもかしこもですね、方法論の話では実は方法論の策や方法を目的化しがちですけど、大事なことは、10年でもう一回原点に帰らないといけない。5年単位でルーティーンを見ていかないとイケません。5年のルーティーンは見ないとイケないけど、それ以上に世の中のトレンドや流れがすごく早くなっている中で、やはり今大事に思っているのは、やはり根っこにある</p>

地域の方々の、満足度ということよりも期待度というところの調査をできる形になること。同時にですね、ここの利用情報を可視化していくということはあったらいいかな。

今はビッグデータとAI検索が必ず出てきます。ということでいくと、データ検証が全てです。極端な話で言いますと、一つの提案としては、日々の、1日何人来ているかというところに対しての統計データを、これ多様なプロジェクトをいっぱいやっているんですよ。1日8時間の運営管理の中で、ものすごく多岐に渡っているプロジェクトをやっておりまして、それをタスクとして資料化されていますけど、これが線になるという意味では、1日にどの種類で何人来ているかという変動データがそのまま見えた方がいいと思います。それによって、いいだ悪いだではなくて、より魅力的なところって何だったんだろうなというところが、おそらく地域の市民活動の日常生活のリズムの中と重ならなきゃいけないというものも出てくるには、データ管理というのがとてもいるかなと思います。

私としては、現状も素晴らしい成果をあげていらっしゃると思いますので、より地域の方々を最優先して大事にするということと、地域の方々の芸術活動を支えるんだという意味で、この施設がやっていることに対してファンを作って、あかがねのファン、あかがねファンというものをぜひ作っていただけるように、まずは伝えていく努力というのをさせていただけたらいいのかなと思います。資料とか成果はとても素晴らしく頑張っていると思います。これに一個一個指摘するのではなくて、線として実績を分析した結果、どこにどういうふうに穴があいている、もしくは魅力がある。一個一個言い出したら、例えば5,003人に対して見込みが12,000人であった。こうやって数字出すと、行政評価と同じで、見込み値に対して実際こうだったから、これ半分じゃないかって、ただ単純に数字を追うんですよ。それ、何のために追うんですかを聞きたいわけですよ。そもそもなんですけど、いわゆる本来のここの目的は、あくまで新居浜市民に対して文化活動、芸術活動を追っかけていくということを最優先するために、ここに皆さんそれぞれ集まられて、ご意見を言うという立場であると思いますので、ネガティブな発言というよりかは、私はよりポジティブな発言をしていくことがいいのかなと思っています。

よりそういうデータ分析をされるということで、すごく見やすくなるんじゃないかと。活動家である運営者の皆さんが把握できないところがあると思います。1日8時間ずっとここにいらっしゃるわけじゃないので、人々の呼吸、極端に言うとか心拍数なんですけど、入り口に入るときに見たいなと思って来る方々は心拍数が上がってるわけですよ。もうここが私の庭よって思ってる市民の方々もいらっしゃると思うんですね。いろんな感情がある中でその感情の流れを見ていくっていう意味でなかなか難しいのでそれをデータ分析として見るっていうのが世の中の的に言うと流行っているというか、わかるようになってきている。見立て違いにならないようにという意味でも状況を把握されることによって、3期目の5年間の、先ほど文化を体験してもらおうとおっしゃっていましたが、市民に体験してもらおう、そういう意味では、この5年間のゴールとはどんな形にしようとしているのか、おそらくそれは5年間の短期決戦なので、これを中期的な話でいくと、どんな新居浜の文化、新居浜の考えをどういうふうにしていけばいいのか、そういう豊かな話を作っていく中で、目標化していけるというふうにもっていけたら、より良くなるのかなというふうに、期待値しかないですね。

指定管理者

おっしゃるとおりで、本当にありがとうございます。我々もですね、館に来ていただいている方々への常時アンケートというかお声はいただくようにしておりますので、そういったものを公開していくというのも必要、当然我々の分析というのも必要だと思うんですが、そういったもののデータの積み重ねというのは非

	<p>常に重要なというふうに思っております。当然、展覧会を開くごとに、皆さんからの声もいただいておりますので、それを反映して、次の展覧会に生かすというところもあると思うんですが、ただ、そういったものを反省しながら、それをまた公開していくというのも非常に重要なというふうに思っております。</p> <p>あと、我々次期の指定管理の中で一つ当てはまるかと思うんですが、来ていただいた方々を、カメラで、AIで、カウントは当然なんですけれども、その方々の属性ですよね、属性なんかも自動で取っ払いこうと思っております。これは日々時間ごとに取りれるようになっておりますので、この辺、個人情報等もあるかとは思いますが、できれば公開していきけるような体制もとっていきたいなと思っております。当然属性は取れますので、我々の取り組みに対するどういった方々が来ているかというのを把握することができますから、それを館の運営に合わせていくとかですね。私も体験というお話をさせていただいたんですが、おっしゃるように市民の方々が期待して出来上がった、こういった施設ではございますので、皆さんがやりたいこと、やってみたいこと、それによって我々が答えていくということですね。それをぜひ、5年間ではございますけれども、やっていきたいなというふうには考えておりますので、お願いいたします。</p>
会長	<p>全てを語ってくれたような気がするんですけども、それ以外何かご意見がある方いらっしゃいますか。なければ次に進ませていただいてよろしいですか。では続きまして、議案2、令和7年度の事業報告案についてのご説明を事務局の方でよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>(美術館事業、指定管理事業について、それぞれ資料に沿って説明)</p>
会長	<p>では、今までのご説明のありました令和7年度の事業計画案について、ご質問ございませんでしょうか。あるいはご意見等いかがでしょうか。</p>
委員	<p>サンリオ展は西予の県歴史文化博物館で開催したものとは違うものでしょうか。あれもカワイイと、結構な人気を博したと聞いておりますけれども。</p>
指定管理者	<p>あれはハローキティのデザイン展みたいな形で、ポスターなんかを主に展示されていたようですが、それとは違う展覧会にはなりません。</p>
委員	<p>魅力的な、さすがにこの10周年記念ということで、子どもたちも私たちも行ってみたいなって思えるような企画展が計画されていると思えました。やはり一番はどれだけコマーシャルするかだと思うんですよね。やはり一般市民みんなに広く知ってもらうために、ということが一番大事なのかなと思うのでその辺はまた工夫して知らせてほしいなと思えます。</p>
委員	<p>今年度、手塚治虫展を見せていただき、監視もさせていただいたんですけども、子どもから大人まで、その会場の中に留まっている時間がものすごく長いというか熱心に見られていました。特に子どもも必死で見られていて、この子すごい子だな、きっと将来何かになるのかなと思うぐらい熱心に見られている方も大勢おいでました。そういう面で、日本で有名な手塚治虫さんというのはテレビでしか見たことがないのに、こういうふうに会場に出て展示されるとすごく身近に感じて、人となりがよく分かったんです。だからこういう展覧会、例えば日本的にも有名である、ここにも一つ入っていますよね、この本はすごく有名、そういうような有名な方の展覧会をまた今度もしていただければいいかなと思いましたが、これからも続けてそういう方を取り上げてくださると子どもたちも喜ぶんじゃないかな</p>

委員	<p>いかな、大人も喜ぶと思います。そういう意味でいい展覧会でした。</p> <p>今年の展示、先ほど言われたように手塚治虫展も素晴らしくて、私が子どものころ見ていたものと、懐かしさと、そして未来につながっていく感じがして感動しました。また来年度、サンリオ展とか、絶滅展、今からすごくワクワクするような、そういう企画をしていただいて、本当にありがたいなと思っております。楽しみにしておりますので、ぜひまたいい展示にさせていただけたらと思っております。</p>
委員	<p>私もアトムというのは、小学校の頃から始まりまして、毎週見ておりましたので、わくわくしておりました、娘と孫たちと三世代で楽しむことができました。一番最初に、いろんな博物館の運営に関して、私は全然そういうことを素人で知らなかったんですけど、状況の把握とかいろんなことを教えていただいていたので、10周年はものすごく、私も全部見たい、そういう企画がいっぱいあるんですけど、広報というか、市民の方に宣伝をいろんな機会にして、是非いろんな方にも見ていただいたらいいと思います。</p>
委員	<p>確認というか、この住友洋画コレクション展ですが、以前この会だったか、話の中でかなり住友の展示は難しいというような内容のことをちょっと耳にしたこともあるんですが、新居浜市美術館の開館10周年記念ということで、この住友洋画コレクションの展示ということですが、今後この住友とのつながりの中で、これはやっぱり10周年おきとか、どんな考えを持ってやっていくのか、ちょっとお聞かせいただけますか。</p>
事務局	<p>この美術館の方針として、子どもたち向けとか市民の方に質の高い美術を見ていただくとかありますが、住友との関係も大切にしながらというのも、地元の地域の作家さんも住友関連の方が多かたりますので、10周年ごととかではないんですが、その機会、機会で展覧会をしていこうとは考えております。</p>
委員	<p>私もちなみにあまり詳しくはないですけども、この10周年展で住友関連の企業とかに、こういったアプローチをしてここにつながったのかというのは何かありますか。</p>
事務局	<p>今回初めて協賛いただいたのですが、実際その以前からこちらに所属している学芸員が泉屋博古館さんにつながりをもって話を進めていたということで、直接美術館さんと話を進めていました。今回このコレクション展示につきましては、横須賀市の美術館さんと巡回展といいますか、一緒にということで実現したのになります。</p>
委員	<p>逆に言うと、こういった展示が決まった後に、住友各社の協賛が後付けになったみたいな、こういったことで理解すればいいんですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>美術館関係の事業については、私は単身赴任で、休みの日は自宅にいないんですけど、息子夫婦に昨年のこの展示の方ですね、代わりに行くように話をしていたら、非常によかったと言っていました。来年度も非常に興味深い企画をされているので、また楽しみな状況だと思います。</p> <p>私は県立学校の方の代表で来ていますが、美術館事業とはちょっと違う話です。</p>

委員	<p>が、指定管理の方でやっておられる企画がいろいろあると思います。高校生もいろいろと芸術活動、音楽であったりダンスであったりとかしていますが、実際にそれを発表する場所というのはなかなかなくて、こちらのホールとかが適切な規模のものではないかなと思います。なかなか高校生側から話は出てきにくいかもしれませんが、いろいろと連携を取り合ったりできれば、ホールも毎日利用するところまでいってはないと思うので、空きコマのところにはめていただくとかいう形でいくと、高校生にとっても非常にありがたいし、またそういうところでの集客力というのは多少なりともあるかなと思いますので、ぜひ何かその辺がありましたらご検討と、お話をする機会があればと思います。</p> <p>来年度も、わけあって絶滅しました展とかサンリオ展とか、子どもたちがすごい興味を持ちそうな企画があって楽しみだなと思います。私は小学校の方ですけども、子どもたちが見学とかでこの施設に訪れることもあるかと思っています。企画展とか美術展の方からすると、ちょっと違うところになるかもしれないですが、子どもたちがいっぱい見学に来れるようなもの、また展示を見るだけじゃなくて、裏側であるとか、働いている人の姿であるとか、そういうふうなものなんかも力を入れて示していただけると良いかなと思いました。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>私が申し上げることは、まず最初にこの美術館のできた経緯です。まあ歴史がありますが、最初からいるんです。昭和48年にこの美術館構想というのが新居浜文化協会を中心に話が進みまして、次の年には採択されて、いよいよ建てただけなのかなというところまでいったんですけども、やはり新しい市庁舎を建てないといけないというので、美術館としてというか、旧庁舎を使っての郷土美術館というのが、昭和56年に、仮の美術館ができました。その仮の美術館でも、新居浜の美術を中心とした活動が盛んにできるようになりまして、美術をやっている皆さん、子どもたち、これから美術をやりたい子どもたちから、市民の皆さんにかなり喜んでいただいたという記憶があります。だけど、これでは物足りない、やはり美術館だろう、本格的な美術館だろうということで、平成元年に私たちが募金活動をした。そんなことで、一応募金をさせていただいたのですけれども、それから長いんですね。やっと10年前にこの美術館が完成、開館しました。</p> <p>もうやはりその時には、最初手をあげられた方たちは、ほとんど亡くなってしまいました。私たちが皆さん方の思いを伝えていく役目という、そういう役目を果たしてはないのですけれども、本日その話を皆さんにさせていただいたわけなんです。</p> <p>この10年間、開館してから指定管理の皆様方がかなり活躍してくれました。新居浜の美術館ですから、市がされていく美術館だとずっと感じておりましたけれども、最初から指定管理制度をとるという話がありまして、それにはちょっと驚きました。そしてまた、その指定管理制度というのは、今後、どちらの美術館でも、頭を打ったときに取り上げられるのではないかというような、これは他の美術館を拝見しておりましたときに、強く感じておりました。そして今年、来年度から指定管理制度が本格化というのでしょうか、もう指定管理さんにやっていただかないといけないということが決まりましたので、大いに期待をしているところではございます。ただし、美術館としての機能が、やはり学芸員さんがいて、そしてそういう指導者、美術の指導者たちの皆様方に運営していただくのが一番だと。それを今、指定管理の伊藤社長さんはじめ、皆様方が何とかしなくてはいけない、その努力をされている姿をみますと、あと5年、10年後にはどうなっているんだろうという非常に期待感を持っているところでございます。</p> <p>先ほどのお話の中に、市民に還元という言葉がございました。またそれは共通</p>

会長	<p>して、あかがねファンをつくるということでもあると思いますけれども、そのお話を大事にして、やはり今後は市民の立場になって、市民の皆さん方から関心をもっともっと持っていただけるような美術館をやっていただきたい、運営をしていただきたいとそんなふうに今すごく強く望んでおります。どうかよろしくお願いいたします。</p> <p>皆様から貴重なご意見、アドバイスありがとうございます。ぜひ参考にさせていただいて、ちょうど10年を迎えて原点に帰る良い協議会になったなと私自身も感じております。ぜひ今後ともご協力をいただけるようお願いいたしまして、本日の議事はこれで終わりましたので、これで閉会とさせていただきますが、よろしいでしょうか。ないようでしたら、これで令和6年度新居浜市総合文化施設及び美術館協議会第3回協議会を終了いたします。どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
----	---